

第23回 在日コリアン人権啓発東京セミナー

主催:一般社団法人在日コリアン・マイノリティー人権研究センター(KMJ)

コロナウイルス感染拡大は、社会のさまざまな矛盾を浮き彫りにしました。特に在日外国人に、その社会的不安による攻撃が向けられました。その上、日韓関係の悪化は、「ヘイトスピーチ」に代表される民族差別・排外主義をますます強化しています。このような時にこそ、啓発はとても重要であるといえます。当セミナーでは引き続き、在日コリアンの歴史・現状・法的地位などを中心に据え、民族差別を解消し、真の共生・ダイバーシティ社会を構築することを目的とした講義を用意しました。多くの皆さまの受講をお待ちしております。

なお、緊急事態宣言の発令などにより、講義の延期や中止が今回もあることが予想されますので、あらかじめご了承くださいたく存じます。

－開催要項－

【日程】

第1期 2021年 7月8日(木) 9日(金)

第2期 2021年 10月28日(木)

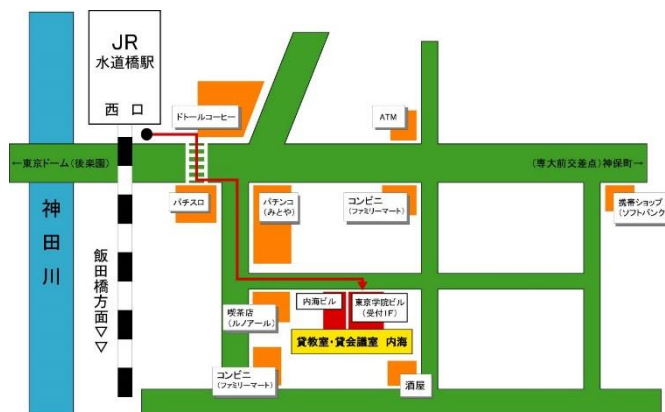
第3期 2022年 2月22日(火)

【会場】

第1期 貸会議室内海2階教室

第2・3期 貸会議室内海3階教室

東京都千代田区三崎町3-6-15 東京学院ビル
TEL03-3261-0017 JR「水道橋駅」西口徒歩1分



【定員】 60人

【参加費】 ・受講料 28,000円(全講義)

・聴講料 a 3,000円(1講義)

・聴講料 b 7,000円(フィールドワーク)

・聴講料 c 4,000円(講義⑧の上映会とトーク)

*KMJ会員の方は1割引です。

【お申込み方法】

7月1日(木)までに別紙申込用紙に必要事項をご記入の上、下記の申込先まで郵送又は、FAXにてお申し込み下さい。請求書をお送りさせていただきます。受講料(聴講料)につきましては、下記の銀行口座にお振り込み下さい。当日のお支払いもご対応させていただきます。領収書は、当日、資料と一緒に渡しいたします。なお、当日は受付にてお名前をチェックさせていただくことで参加確認をさせていただきます。

☆お振り込み先

三菱UFJ銀行	生野支店	普通預金	3936599
名義	一般社団法人在日コリアン・マイノリティー人権研究センター		
理事長	仲尾宏		

【第1期講座】

一日目（7/8）

講義① 日本の朝鮮植民地支配と在日コリアン

講 師 ホン チャン グッ
洪 昌 極さん（一橋大学社会学研究科特別研究員）

現在の在日コリアン形成の原点である日本の朝鮮植民地支配。その実態はどのようなものだったのでしょうか。朝鮮の近代化の手助けをしたとの主張もありますが、本当にそうだったのでしょうか。在日コリアンの人権問題を考える上で、非常に重要なテーマです。洪先生には、日本の朝鮮植民地支配の基本的な通史と韓国・朝鮮、在日コリアンに及ぼした影響などについて明らかにしていただきます。

【プロフィール】

朝鮮近現代史、植民地期朝鮮における農業移民や干拓事業など、水利秩序を軸とした研究をすすめる。2020年4月に「朝鮮植民地化過程における水利施設の国有化と水利権」を発表。

講義② 江戸川区から日本を変革したいーよぎさんの挑戦

講 師 **よぎ**さん（江戸川区議会議員、本名：プラニック・ヨゲンドラ）

「日本人と外国人の架け橋になりたい」と日本国籍を取得したインド出身のよぎさんは2019年4月、東京・江戸川区議会議員選挙に立候補して見事当選しました。同区の都市開発構想「スマートシティー」を打ち出し、区民の生活環境の向上を目指すとともに、インド人コミュニティとも連携してインド人街の創設や、外国人移民受け入れの課題、少子化問題にも取り組んでいます。在日外国人という立場で日本を変革したいと考えるよぎさんのお話から、これから日本が目指すべき方向が見えるのではないかと思います。

【プロフィール】

インド出身。1997年に初来日、1999年に日本留学、金融関係のIT、事務部門で長年働き、2012年に日本国籍取得。2019年7月に実施された東京都江戸川区議選で立憲民主党公認で立候補。6,477票を得て5番目で当選。42歳。江戸川区内でインド料理店、インド文化センターも運営している。

講義③ 在日朝鮮人女性の人権について

講 師 パクキム ウ ギ
朴金 優 綺さん（在日本朝鮮人人権協会事務局）

朴金先生には、両親の性を名乗られている思いをはじめに、「在日コリアン」と「女性」という重なり合った被差別の問題、実態調査や相談内容、外国人幼保無償化排除、コロナ禍における朝鮮大学生の学生支援金排除問題などを通じて、在日朝鮮人女性の現状についてお話しいただきます。

【プロフィール】

在日朝鮮人3世の人権活動家。在日本朝鮮人人権協会事務局員、朝鮮大学校講師、歌手。朝鮮学校差別問題をはじめとする在日朝鮮人の人権問題や日本軍性奴隷問題について国連人権機関で働きかけを行ってきた。2017年、国連主催の「マイノリティ・フォーラム」に日本から初のパネリストとして参加、在日朝鮮人の子どもたちの教育権について報告。主な論文に「北海道における朝鮮人強制連行・強制労働と企業「慰安所」」（『大原社会問題研究所雑誌』687、2016年）。

講 義④ フィールドワーク

「戦後の在日コリアンの暮らしと強制労働の歴史」

案 内 川崎戸手教会・相模湖・ダムの歴史を記録する会

【訪 問 先】

①川崎戸手教会と河川敷（神奈川県川崎市）

戦後、多摩川の河川敷には行き場のない朝鮮人たちが多く住んでいました。そこに日本人宣教師によって宣教活動と生活支援のため建てられたのが川崎戸手教会です。その思いは何であったのか、戦後の貧困と差別に苦しむ在日コリアンたちの生活、そして今を学びたいと思います。

②相模湖・ダム（神奈川県相模原市）

相模湖は、日本で初めての多目的ダムによる人造湖で、1940年に起工、1947年に完成しました。その工事には、戦時下の労働力不足のもとで、日本各地から集められた労働者、勤労学徒のみならず、捕虜として連れてこられた中国人、当時、植民地であった朝鮮半島から国策により連れてこられた朝鮮人など、延べ三百数十万人が従事されました。その歴史と記録を残す活動について学びたいと思います。

*フィールドワークの詳細につきましては、お申し込みいただいた方に後日、ご案内します。
*昨年、コロナ禍で中止となりましたフィールドワーク（浅川地下壕）の内容と変更しました。
地下壕見学はいまだコロナ禍の影響があると考えたためです。来年度実施の予定です。

【第2期講座】（10/28）

講 義⑤ 『風土記』・『記紀』の世界と渡来人

講 師 仲尾 宏さん（KMJ理事長）

日本と朝鮮半島は「神話を共有する」とも考えられています。日本最古の書物である『風土記』『古事記』『日本書紀』を紐解き、日本と朝鮮半島の古代史を探索しましょう。仲尾先生がご案内します。

【プロフィール】

1936年生まれ。日朝関係史学者。1960年同志社大学法学部政治学科卒業。京都造形芸術大学客員教授、KMJ理事長など。

講 義⑥ 積み残された課題 戦後補償－B C級戦犯問題を中心に－

講 師 内海 愛子さん（恵泉女学園大学名誉教授）

今年4月、元BC級戦犯で最後の生き残りでした李鶴来さんが亡くなりました。李さんは戦後一貫して日本政府による補償をもとめてきましたが、叶わずこの世を去りました。李さんらを永く支えてこられたのが内海先生。BC級戦犯問題を通じて、昨今、日韓関係悪化の主因である戦後補償をめぐる問題について、明らかにしていただきます。

【プロフィール】

1941年東京生まれ。1964年早稲田大学教育学部英語英文科卒業。1965年同大学第一文学部哲学科社会学専修に編入学。1967年卒業。1974年同大学院社会学専攻博士課程を単位取得退学。1975-1977年日本語教員としてインドネシア国立パジャジャラン大学（英語版）文学部講師を務める。1977年に帰国後、立教大学、東京都立大学などの非常勤講師を経て、1988年恵泉女学園大学人文学部助教授、1992年同教授、2007年3月名誉教授。2012年大阪経済法科大学アジア太平洋研究センター所長・特任教授

講 義⑦ 民族差別撤廃運動の歴史と現状

講 師 ^{コ キョン イル}
高 敬 一 さん（KM J 事務局長）

戦後、在日コリアンの民族運動は、生活上の権益擁護より祖国への貢献、帰還が主であり、それが転換するのが、1970 年代からでした。そして現在はどうのような課題をもっているのかを明らかにしていきたいと思います。

【プロフィール】

1972 年、大阪生まれ。桃山学院大学大学院修了後、在日コリアン人権協会に所属し、反差別・人権運動に取り組む。現在、KM J 事務局長、在日コリアン高齢者支援センターサンボラム理事長。

【第 3 期講座】（2/22）

講 義⑧ ドキュメンタリーの上映とトーク

〔ドキュメンタリー映画上映〕（135 分）

『戦後在日 50 年史－在日・歴史編』（1997 年）

〔トーク〕（45 分）清水 千恵子さん（故呉徳洙監督連れ合い）

故呉徳洙監督が戦後 50 年を機に、在日コリアンの歴史を映像で残した労作です。すでに 24 年の月日が流れていますが、中身は全く色褪せることなく、貴重な映像とともに、在日コリアンの歴史をわかりやすく伝えています。上映後は、呉監督のお連れ合いで、制作にかかわられた清水さんに、当時の苦労話や呉監督とのことなどをお話しいたします。

【スケジュール】

7 / 8 （木）	7 / 9 （金）	1 0 / 2 8 （木）	2 / 2 2 （火）
9:30 受付開始	後日ご案内します。	9:30 受付開始	13:00 受付開始
9:55 開 会		9:55 開 会	13:30 講義⑧
10:00 講義①		10:00 講義⑤	16:55 終 了
11:50 昼 食		11:50 昼 食	
13:00 講義②		13:00 講義⑥	
14:50 休 憩		14:50 休 憩	
15:00 講義③		15:00 講義⑦	
16:50 閉 会		16:50 閉 会	
17:00 終 了		17:00 終 了	

第23回 在日コリアン人権啓発東京セミナー

受講（聴講）申込書

(FAX 06-6717-2702)

☐ 受講（7講義とフィールドワークすべて受講される方です）

☐ 聴講（聴講希望講義番号 ）

*聴講希望の場合は、講義番号をご記入下さい。例えば、洪先生の講義のみ聴講したい場合は①、フィールドワークの場合は④複数の場合は①②④⑥とご記入下さい。

講義①	「日本の朝鮮植民地支配と在日コリアン」洪昌極さん
講義②	「江戸川区から日本を変革したい」よぎさん
講義③	「在日朝鮮人女性の人権について」朴金優錡さん
講義④	フィールドワーク
講義⑤	「『風土記』『記紀』の世界と渡来人」仲尾宏さん
講義⑥	「積み残された課題 戦後補償」内海愛子さん
講義⑦	「民族差別撤廃運動の歴史と現状」高敬一さん
講義⑧	ドキュメンタリーの上映とトーク

フリガナ		勤務先名 担当部署	
受講者			
住所 電話 FAX	〒 TEL FAX		

*複数名参加の場合は下記に受講（聴講）者名と担当部署をご記入ください。

受講（聴講）者名	担当部署	受講・聴講
		☐ 受講 ☐ 聴講（番号 ）
		☐ 受講 ☐ 聴講（番号 ）
		☐ 受講 ☐ 聴講（番号 ）

【連絡先】

一般社団法人在日コリアン・マイノリティー人権研究センター
 担 当 高敬一（コ・キョンイル）まで
 〒544-0033 大阪府大阪市生野区中川西3-10-18
 TEL06-6717-2701 FAX06-6717-2702
 e-mail : kmj@star.odn.ne.jp URL : http://kmjweb.com